

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-2-1 生涯を通じた学習と社会貢献活動の推進
---------	-------------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	社会教育課 前田秀典	電話番号	0852-22-5910
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	社会教育関係団体活性化事業		
目的	(1) 対象	社会教育関係団体	
	(2) 意図	社会教育関係団体に対する補助金や表彰等により、社会教育関係団体の活動の活性化を図る。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育関係団体の活動の活発化を図るため、関係団体が行う研修会等に参加し、専門的・技術的な助言を行う。 少年団体活動の発展のため、優れた活動を行っている少年団体を対象に表彰を行う。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	社会参加への意欲	目標値	700.0	700.0	700.0	700.0	人
	式・定義	連合婦人会研修参加者数	取組目標値					
			実績値	685.0	637.0			
			達成率	-	91.0	-	-	%
2	指標名	社会参加への意欲	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	団体
	式・定義	表彰団体数	取組目標値					
			実績値	2.0	3.0			
			達成率	-	150.0	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	32	685
うち一般財源 (千円)	32	685

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- 連合婦人会の実践活動研究会への参加者が減少している。（H27：685名⇒H28：637名）
- 審査会を経て選考された3団体を表彰した。（H24：2団体、H25：5団体、H26：3団体、H27：2団体）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 連合婦人会の研修会は、現代的課題を取り上げるなど参加者のニーズにあった研修会となった。
- 表彰がメディアに取り上げられることで、活動の励みになり、少年団体活動の活性化につながっている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 近年の優良少年団体表彰は、限られた市町村からの推薦が多い。

②困っている状況が発生している「原因」

- 表彰制度の周知や少年団体活動の掘り起こしが十分でない。

③原因を解消するための「課題」

- 表彰対象となる少年団体活動の掘り起こしが必要である。
- 表彰制度の情報提供方法を工夫する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- 市町村において表彰対象となる少年団体活動の掘り起こしができるよう、余裕のあるスケジュールで推薦を依頼する。
- 市町村担当者、派遣社会教育主事、教育事務所と連携し、表彰制度の情報提供方法を工夫する。